

歯周病原細菌の病原因子

<i>P.gingivalis</i>	線毛	菌体表面の 3~8nm の線維状構造物。細菌の付着に関与する。
	莢膜	細胞壁の外側に位置する被膜状の構造物。白血球による食作用などの宿主の免疫機構によって排除されることを回避する役割を持つ。
	リポ多糖(LPS)	グラム陰性菌細胞壁外膜の構成成分で、脂質と多糖から構成される。ヒト等の細胞に作用すると、多彩な生物活性を発現する。
	血液凝集因子	ヒト等の血球を凝集させることにより、細胞へ付着する因子と考えられている。
	ジンジパイン	<i>P.gingivalis</i> が産生する主要なプロテアーゼ(タンパク分解酵素)。宿主細胞を傷害し、菌の成長に必要なアミノ酸を獲得する。
<i>A.actinomycetem-comitans</i>	線毛	上に同じ。
	莢膜	上に同じ。
	リポ多糖	上に同じ。
	ロイコトキシン	好中球や単球に対する外毒素。宿主防御にかかわる細胞を数分以内で殺す。
	細胞膨化毒素	宿主の細胞を膨張化させ、細胞死を起こさせる毒素。
	膜小胞	細菌外膜に由来し、宿主細胞と融合して溶解し、細胞を傷害する。
<i>T.forsythia</i>	トリプシン様酵素	トリプシンと触媒機構等が類似しているプロテアーゼ(タンパク分解酵素)
	シアリダーゼ	糖脂質や糖タンパク糖鎖からシアル酸を脱離する糖分解酵素。侵入に関与する。
	S-layer	細胞外皮の一部位で、タンパク質あるいは糖タンパク質から構成される単分子層。食作用等に対する防御として働く。